

# 第 143 回浜田市教育委員会定例会議事録

日 時：平成 29 年 4 月 24 日（月） 13：30～15：10

場 所：浜田公民館図書室

出席者：石本教育長 藤本委員 宇津委員 金本委員 花田委員

事務局 佐々木部長 河上課長 村木室長 森脇課長 岡田室長

山根課長 島田館長 長見所長 外浦課長 村瀧室長

原田分室長 佐々尾分室長 森下分室長 吉野分室長

書記：湯浅係長 日ノ原主任主事

## 議事

### 1 教育長報告

### 2 議題

- (1) 公民館職員の選任について（資料 1）
- (2) 教育委員会学校訪問について（資料 2）

### 3 部長・課長等報告事項

### 4 その他

- (1) 各課年間スケジュールについて（資料 13）
- (2) その他

### 1 教育長報告

石本教育長

新年度も始まり、約 1 か月が経つ。4 月に入って色々なことがあった。

不祥事のご報告、委員方にはお詫びを申し上げたいと思っている。報道等で委員方もご存知の様に、4 月 6 日に市内の中学校に勤務している男性教諭が道路交通法違反、酒気帯び運転で逮捕されるといった事件が発生した。5 日の夕方にその学校の歓迎会が、市内であった。逮捕された教諭は歓迎会の幹事だったということもあり、1 次会、2 次会、3 次会まで参加し、3 次会が終わって、同僚と一緒にタクシーで帰ったが、同僚の方を美川で降ろした後 1 人になり、一度アパートの近くまで帰っていたが、次の日の 10 時 30 分から大事な会議があり、その会議の資料がまだできていないということもあって、明日の朝早く行って作らなければならないので、できたら車を持って帰りたいたいという様な思いの中で、学校の近くでタクシーを降り、歩いて学校へ行って、飲酒運転で車を運転してアパートへ向かったということである。

運転の途中で、市道に停めてあった車に衝突をしたということで、その音を聞きつけた近所の方が警察に通報された。警察の検査の結果、アルコールが基準値以上検知されたということで、警察に連行されて、取調べの後、通常逮捕となった。

毎年、県内の他市で色々な不祥事がある。その度に校長会等で法令の遵守、綱紀粛正の徹底、そういったことについてお願いをしてきた。昨年度も校長会があったが、11回の校長会の内4回はそういったことを議題に挙げて、指導・徹底をお願いしてきたが、こういった事件が起きたということで、教育委員会の指導が十分でなかったと、深く反省をしているところである。

7日にはすぐに、校長宛に法令遵守、綱紀粛正の徹底、そういったことの指導をさらに徹底する様にといったことをお願いする文書を出すとともに、幼稚園、小学校、中学校、公立学校の先生方全員、一人ひとりに教育長の訓令という形で、厳しくそういったことのない様に命令の文書を出している。

そういったことがどれだけ効果があるかということとは分からないが、こういったことが二度と起きてほしくないということで、そういったものを出している。

法令違反ということではないが、実はそのような中、先週の土曜日、22日に、加害者が小学校の講師、被害者が小学生といった交通事故が起きた。これは特に悪意がある過失ではないということで、報道機関等では報道したところとしていないところがあるので、ご存知ない方もおられるかもしれないが、テレビでは山陰中央テレビ、新聞では中国新聞と読売新聞にて報道されている。他のところは、先ほど言った様に、過失ではあるが悪意があるものではないからといったことで、報道は控えたと聞いているが、何社かの紙面には出ているので、これについても今日付けで教職員に対して交通事故に対して十分注意するといったことの徹底、それからゴールデンウィークを迎えるので、児童生徒に対しても交通安全には気を付ける様にといった指導の徹底をお願いする文書を今日付けで出したところである。

今回の22日の事故は、洋服の青山のところに横断歩道があるが、子どもが青山のところから横断歩道を渡って、旧測候所があったところを渡ったところへ、旧原井小学校があったところから出てきた女性が、信号が青だったので左折をするという時に子どもを引っかけたしまったという案件である。慌てたその先生がブ

レーキを踏まずにアクセルを踏んでしまったということで、勢いよく前に出てしまい、青山から出ようとしていた車にぶつかってやっと止まったという状況であった。

子どもは意識等もしっかりしているが、顔面の骨折、それから肺の機能が少し衰えているということである。大動脈にも少し損傷があるということで、医療センターに救急車で運ばれたが、そのままヘリコプターで島根大学医学部の附属病院に搬送されて、今のところ2週間の療養が必要だろうといった診断が出ているところである。重症の人身事故ということで、ちょっとした不注意だったのだろうが、そういったことについても十分に注意をする様に、指導、徹底、そういったことが必要なのかなと思っている。

4月に入って色々と委員方にもご心配、ご迷惑をおかけする様な事態が続いており、お詫びを申し上げたいと思う。申し訳ありませんでした。

それでは資料に基づいて、1か月間の報告をしたいと思う。

① 3月30日（木）県教委・県立学校改革推進室長との協議  
《中高一貫教育について報告（県教育庁会議室）》

県教委・県立学校改革推進室長との協議ということで、中高一貫教育について報告とあるが、3月の定例会の時に、3月25日に民間団体の期成同盟会が設立をされたという話をしたが、そのことについて県教委に報告をした。

② 3月31日（金）教職員退職者辞職者辞令交付式及び感謝状贈呈式（浜田公民館）

教職員退職者辞職者辞令交付式に委員方にも出席いただき、交付式を行った。定年退職者が9名、辞職者が3名ということで、計12名の先生方をお送りしたところである。

③ 3月31日（金）公民館長・主事感謝状贈呈式（教育委員室）

公民館長・主事感謝状贈呈式があった。長年公民館長をしていただいていたベテランの館長方がこの3月に辞められた。

周布の山崎館長には14年間、館長をしていただいた。山崎館長には館長の前に主事をしていただいております、トータルすると公民館に21年間の勤務となった。

浜田公民館の岡田館長には14年間、館長をしていただいた。

杵束公民館の山崎正三館長も10年8か月間、館長として勤務していただいた。本当にベテランの館長方がこの3月に勇退されたということがあり、感謝状を渡す中で、長年の色々な思

い出話等をさせていただいた。

④ 4月3日（月）他部局への出向者辞令交付式

教育委員会配置転換者辞令交付式

他部局からの転入者辞令交付式

新任幼稚園長辞令交付式

新任公民館長辞令交付式（浜田公民館）

市の職員の辞令交付を行った。教育委員会の職員も含めて辞令交付があった。教育委員会から市長部局に出向された方 8 名に辞令を交付した。

それから教育委員会の中の配置転換、11 名の方に辞令交付している。

他部局から教育委員会に来られた方が、6 名である。

それから、幼稚園の新任園長ということで、長浜幼稚園の吉田園長に辞令交付をしている。

その後、新任の公民館長ということで、4 人の館長に辞令交付した。

浜田公民館は磯野館長、周布公民館は長元館長、和田公民館は1年で変わったと思うが、早田館長が館長となられた。杵束公民館は日下田館長である。

和田公民館の早田館長、それから杵束公民館の日下田館長のお二人はIターンで浜田に来られた方である。早田さんは浜田に来られて15年、日下田館長はまだ来られて7年だが、地元の活動に積極的に参加をされており、今回地元からの推薦で公民館長になられたということで、これからの活動については期待するものである。

⑤ 4月4日（火）浜田市教職員辞令交付式・管理職着任式・新規採用教職員宣誓式

委員方にもご出席いただいたが、浜田市教職員辞令交付式が行われた。全員で61名の方、一人ひとりに辞令交付させていただいた。今年も新採の方が9名おられた。他市町村から浜田市に来られた方も38名おられるということで、ぜひ現場で頑張っていたいただきたいと思います。

⑥ 4月5日（水）防犯グッズ及びランドセルカバー贈呈式（浜田公民館）

恒例になっているが、浜田市安全協会からランドセルカバー、そしてライオンズクラブ、青少年健全育成推進協議会、少

年補導委員連絡会等から防犯グッズということで、ホイッスル、ワッペン、そういったものを贈呈いただいた。

4月11日の小学校の入学式に間に合う様に、すぐにそれぞれ贈ったところである。

- ⑦ 4月6日（木）市内中学校に勤務する男性教諭（38歳）が、道路交通法違反（酒気帯び運転）で逮捕される。

先ほど申し上げた、男性教諭が逮捕されたということを挙げている。

その日に予定されていた、教育委員会の歓送迎会は中止とさせていただいた。

- ⑧ 4月9日（日）平成29年度美作濱田会慰霊祭及び総会（津山市・鶴田藩西御殿跡）

美作濱田会慰霊祭に市長が出席しているが、教育委員会からは部長と文化振興課長、文化財係長がそれぞれ新任ということだったので、顔合わせをしていただいたところである。

- ⑨ 4月10日（月）から12日（水）入学式・入園式

10日から12日にかけて中学校、小学校、そして幼稚園の入学式、入園式等が行われた。委員方にはそれぞれ出席いただいた。ありがとうございました。

学校からもそれぞれ立派に入学式を終えたという報告をいただいている。

- ⑩ 4月17日（月）第1回教育部内会議（議会執行部控室）

教育部内の会議ということで、各課の懸案事項について、各課で取りまとめたものを教育委員会の中で課題の情報共有をしようということで、そういった会を開いた。

その時の資料は、今日の資料の最後に付けている。おそらく説明する時間はないと思うので、また委員方のお時間のある時に目を通していただきたいと思います。

教育委員会の職員として他の課が持っている課題、問題、そういったものを他の課の問題ということではなく、一緒に考えるとといった様な体制を築いていきたいと思っており、そういった会議を毎年やっている。

- ⑪ 4月18日（火）平成29年度全国学力調査・学習状況調査実施  
今年度の全国学力調査・学習状況調査が実施されている。

- ⑫ 4月20日（木）平成29年度第1回浜田市公民館連絡協議会館長会議（黒沢公民館）

黒沢公民館で公民館連絡協議会の館長会議があった。この館長会議は年に3回くらいあるが、各自治区の公民館をそれぞれ回って開催をするということで、その地域ごとの取組、そういったものを他の館長に見ていただくといった様な会にしている。

午前中に三隅の6館の公民館をすべて回って、活動状況等の話を聞いて、昼から全体会議を開いたということがあったので、私は午後の会議だけ出席をさせていただいた。

⑬ 4月22日（土）交通事故（人身事故）

先ほど申し上げた様に、交通事故、人身事故が発生している。資料には載せていないが、そういったことがあった。

1か月間の報告は以上である。

今のところで、質問等はあるか。

質疑応答

藤本委員

4月10日から12日までのところで、入学式が一斉に行われて、それぞれ分散して出席された。私ももちろん出席をしたが、特にこういったことがあったなどあれば、参考のために聞いておかなければと思うが、何かあるか。職員方も出席されていると思うが何かあるか。

石本教育長

来賓席で携帯電話のスマートフォンをかまっていたという方はおられなかったか。卒業式には何人かいたと話題になった。

岡田室長

スマートフォンで思ったのは、最近保護者の方が自由に動いて写真を撮られるということを感じた。席に座っておらず驚いた。入学生が入場する時には皆立ち上がって平気で動くのだなと思った。

石本教育長

幼稚園ではあったが、小学校や中学校でもあるか。

藤本委員

中腰ということはあるかもしれないが。

岡田室長

歩いて撮っておられた。

花田委員

どこの学校か。

岡田室長

私は長浜小学校に行った。うろうろ歩き回るわけではないが、立ち上がって通路に移動されて撮っていた。少し驚いたが、皆驚いたふうでもなかったもので、当たり前なのかなと感じた。

石本教育長

それは特定の人か。

岡田室長

いっぱいである。たくさんの方が立ち上がって良いポジションを取られる。

石本教育長 始まる前に教頭先生か誰かが言われているのか。前に出て立って撮っても良いですよとか。

宇津委員 そういうことが伝統的に行われる風土になってしまうとまずいと思う。やはり厳粛な、入学式にしても、特に卒業式の場合は厳粛な雰囲気の中でやりたいということが主催をする側の気持ちだろうと思う。

金本委員 そういった動き回る様な状況が、常態化してくるとか、伝統的にそうすることが子どもにとって良いのだという感覚を持ってもらおうと少し具合が悪いかと思う。

石本教育長  
金本委員 それがひいては、普段の学習の中に出てきたり、学校行事の中で出てくると思う。文化祭とか学習発表会とか、あるいは運動会とか。それは注意しておかないと、と思う。

金本委員 事故があった直後の三中の入学式に行ったが、やはり少しドタバタしていたというか、入学のしおりを大体受付で渡されるが、皆さんが着席をされて、新生が入る前のところで配られた。

石本教育長  
金本委員 作り直しになったのではないか。

石本教育長 そうだと思う。事故を起こされた先生のところが空欄になっていた。

石本教育長 式の中では、事件については一応触れないということで、終わった後に保護者に対して話をすることは聞いていたが、そうであったか。

金本委員 はい。私たちが退場した後で話された。始まる前の来賓の控室では校長先生が色々と説明をされた。

藤本委員 来賓紹介があるが、ある学校では来賓の方が20名くらいおられたが、あのくらいの人数はどこでもおられると思う。ある学校では教頭先生が、ご紹介をするのでそのままの席でお立ちいただいて挨拶抜きで一礼をお願いしたいと言われた。そうすると時間が短縮できるということはあると思うが、せつかく仕事をやりくりされてきちっとした服装で来られているのに、簡単に言えば何も言わないでください、といった様な言い方であった。言われる方も長々とは言わないので、そこまで言われなければいけないのかなと少し違和感を覚えた。

石本教育長  
藤本委員 それは市外から新しく来られた先生ではないか。

藤本委員 そうではない。「ご入学おめでとうございます。」といったことは普通言われる。それは良いのではないかと思う。なしにすれば時間は短縮されると思うが、20分、30分、40分かかかるわけで

石本教育長

はない。どれが正しいか正しくないかは別にして、そういうこともあったということ、この場をお借りして他にはなかったかということをお聞きしたかった。

藤本委員

確かにそういう学校も今まであったかもしれないが、ほとんどない。

発言を止められて、良いか悪いかは別にして、言われても良いのではないかということが私の思いである。

石本教育長  
各委員

他はよろしいか。

特になし。

## 2 議題

### (1) 公民館職員の選任について (資料 1)

山根課長

資料 1 をご覧いただきたい。公民館主事の選任ということで、選任中の 2 名の方について承認をいただくものである。

長浜公民館の主事として長谷川真美さん、5 月 22 日から 3 月 31 日までの任期である。熱田町にお住まいで 48 歳になられる。民間に勤めておられたが、敢えて民間の仕事を辞められるということではなく、大体公民館主事においては公民館を中心に地域からこれまで選出していただく様な方法を取ってきた。これまでハローワークに求人を出すことはなかったが、この度ハローワークに求人を出し、応募があった。ご本人は子どもの頃から公民館の行事に参加されており、PTA 活動も公民館のお世話になっているということもある。そして、地元の体育協会にも入っておられるということもあり、ぜひ公民館で仕事をしてみたいということである。

この 5 月 22 日からというのは現在の民間の仕事が、期間で整理がつくまでということで、この日からとなる。

本人の強い希望を感じて期待するところである。

2 人目は、三保公民館の長尾百合さん。三隅町湊浦にお住まいで、62 歳の方である。この方も民間にお勤めされていた。この度地域からの推薦ということで、主事となる。

4 月 17 日からということで、事後となるが、今年度ということで承認をよろしくお願いしたい。

石本教育長  
藤本委員

2 名の主事について選任の提案があった。ご質問等はあるか。

長谷川さんについてはハローワークに求人を出していて、応募があったということだが、これは長浜公民館であり、ご本人は熱

山根課長  
藤本委員

田町にお住まいということか。

そうである。

公民館の職員というのは、地域との結びつきがどうしても求められてくるものだと思っている。地域からの推薦が今までの慣例的なあり方だったと思うが、今回は違うので、地域の方との関わりができるのかという心配をする。その辺はどの様に考えているか。

山根課長

この方については先ほども少し触れたが、PTA 活動で公民館とも一緒になって活動しておられるということや、あるいは体育協会で公民館と繋がりがあったり、体育協会で活動しているということもあり、そのあたりは大丈夫かと思う。

石本教育長  
金本委員  
藤本委員

熱田町は長浜公民館のエリアになる。地元の方になる。

主事の方でも、地元の方ではないところもある。

旭でもそういうことがあった。むしろ地元でないところからお招きした方が良いのではないかという提案を私も聞いたことがある。それは中々答えが出ない部分であり、良い場合もあるかもしれないし、そうでない場合もあるかもしれないということもあるので、地域の方を中心に色々推薦いただいた方が良いといったことを今まで話した経緯がある。どちらが正しいということではなく、望ましいスタイルとはどういったものかということも基本に思っている。

だが、今お聞きしたら、エリアの中でもありPTAの役員もされたりと、公民館と繋がりがあるということなので、地元の方と同じ考え方だと思う。別に異存があるわけではないが、参考までにお伺いした。

石本教育長

生涯学習課の基本的な考え方としては、地元から推薦を受けるということだが、今回は地元から適任者がいない、推薦を受けられなかったので、ハローワークに求人を出したということで良いか。

山根課長  
石本教育長

はい。

今後も基本的には推薦を第一に考えるということだが、よろしいか。

藤本委員  
石本教育長  
委員方

はい。

それでは、この2名の方の承認についてよろしいか。

全会一致で承認

(2) 教育委員会学校訪問について (資料 2)

湯浅係長

平成 29 年度教育委員会学校訪問についてご説明させていただきます。

まず目的だが、浜田市教育大綱及び浜田市教育振興計画に掲げた基本理念に即した教育行政の運営が行われるよう、教育委員が学校経営・学校運営を見ていっていただくこととなっている。

昨年 4 月に開催した第 131 回教育委員会定例会においては 5 月下旬から 7 月の間として提案をさせていただいている。実際には、小学校、中学校については 6 月、7 月に。幼稚園については 10 月に実施したところである。

先日委員方に日程について、事前にお配りしているが、その日付で調整をしていきたいと考えている。

現在考えているのが、7 月 5 日を始めとして 7 月 14 日までの間のところで検討をお願いしたいと思っている。訪問はこれまでと同様に全部の小中学校及び幼稚園を対象としたいと思っている。

訪問時間はこれまでと同様に 1 校または 1 園あたり 50 分程度で考えていきたいと思っている。

基本的には先に小学校、中学校を優先に実施をさせていただきたいと考えている。幼稚園については教育長、委員方のご都合を伺う中で、昨年度同様に場合によっては 2 学期のところで検討させていただければと思っている。

続いて訪問者だが、これも従来どおり 9 名程度ということで、教育長、委員方、教育部長、教育総務課長、学校教育課長、それから事務局の 9 名で検討していきたいと思っている。

協議事項だが、訪問日程については改めて調整の上、お示しをさせていただきたいということでご了解をいただきたいと思う。

意見交換のテーマだが、過去の意見テーマについて平成 24 年度からのものを掲載させていただいている。これについては資料 2 の下のところ、それから裏面になるが、平成 28 年度までのものを掲載している。

実際には平成 27 年度から小学校中学校ごとにテーマを変えているということがある。事務局として学力調査の関係の自校採点の分析結果及び今後の取組についてというところもあるが、今年度も教育委員の学校訪問のテーマとさせていただくのか、また、このことも踏まえながら別の意見交換のテーマを検討するのか

というところをお示しいただければと思っている。

石本教育長 日程については調整するということがあったが、大まかなものはいつからになるか。

湯浅係長 委員方に調整いただければと思い、日程のお示しをさせていただいているのは、7月5日の午前午後、6日午前午後、7日午前午後、10日午前午後、11日午後、12日午前、13日午前午後、14日午前午後となっている。この部分については後ほど伺い、調整をさせていただければと思う。

石本教育長 日程については調査中ということで、再度委員方のご都合を聞いて、また調整させていただくので、ご了承をいただきたいと思う。

1校あたり50分程度ということも、長ければ良いこともあるだろうが、中々、そうすると日数が増えたりということもあるので、なるべく校舎内を見る時間をコンパクトにして意見交換の時間をしっかり取った方が良いのか。それとも子どもの様子をもっと見たいという思いがあるか。50分の配分はどうか。大体30分くらい意見交換をしていたと思う。あと20分くらいで校舎内を見る。その様な感じであったかと思う。

藤本委員 そのような配分で良いと思う。あまり校舎内を立ち止まって見るとなると、子どもたちからすれば非常に目障りかもしれない。

花田委員 見て周るのに、授業中に合わせて、前にしたり後ろにしたりするが、学校の都合としてはたぶん休み時間を見てほしくないと思う。こちらとしては休み時間を少し見ることができればその学校の雰囲気などを掴みやすいが、学校としては嫌だと思う。

石本教育長 先に見ておくと、気が付いたことを意見交換の時に聞くこともできる。

花田委員 そちらの方が良かった。

石本教育長 なるべく先に見学させていただいて、あとで時間いっぱい、ギリギリまで意見交換をする方が良いかもしれない。なるべくそういう組み方を考えてほしい。

湯浅係長 はい。

石本教育長 意見交換のテーマだが、ここ何年かは自校採点をしているので、自校採点の分析結果と今後の取組について話し、その後何点が聞くということだったが、どうするか。

今日決めなくても来月でもまだ間に合うので、委員方に来月までのところで、こういったことは聞いてみたいということがあれ

ば、考えてきていただきたいと思う。

それでは意見交換のテーマについては来月決めさせていただくということで、よろしく願いしたい。

### 3 部長・課長等報告事項

佐々木部長

平成 29 年 6 月 定例会 会議予定 (資料 3)

6 月の定例会の会議予定ということで、日程を示している。正式に決まったものではないが、予定としてご承知いただければと思う。議会が始まる前の、6 月 13 日に一般質問の締切があり、議会そのものは 6 月 19 日 (月) から開催となる。

一般質問が 20 日から 23 日の 4 日間。27 日に総務文教委員会。表決は 7 月 4 日 (火) となる。

河上課長

平成 29 年度公立幼稚園園児数一覧表 (資料 4)

平成 29 年度公立幼稚園園児数一覧表を載せている。それぞれ 1 年保育、2 年保育、3 年保育、特別支援ということで園ごとに載せている。

一番右に平成 29 年度の合計を載せているが、隣に平成 28 年度の合計ということで、総園児数 121 人だったものが今年度 97 人ということで、マイナス 24 人と、非常に園児が少なくなっている。100 人を切った状況である。そういった中で、特別支援は 2 名の増ということなので、先生方の負担も増えているのかなという認識をしているが、入園児の状況ということでまたご覧いただきたい。

行事等予定表 (資料 5)

行事等予定表である。4 月 27 日の都市教育長定例会以降、日付ごとに載せている。この中で、5 月 30 日、31 日に中学校の総体関係、体操と水泳のみ載せているが、資料の一番後ろに一覧表という形で入れさせてもらっている。中学校体育連盟の事業計画を一覧表ということで (案) を載せている。

予備日のところで委員会または会長ということで、予定のとおりが付いている。

石本教育長

藤本委員には申し訳ないが、今年も小体連陸上大会と私の出る会議が重なってしまったので、小体連陸上大会の最初の挨拶をお願いしたいと思う。

山田前教育長の時は日程がずれていたと思う。山田前教育長はどちらにも出ていたので。

村木室長

教育施設再編推進室の新設について（資料6）

教育施設再編推進室の新設についてである。3月の定例会において関係規則の改正を行い、4月から新設された部署である。

主に教育委員会が所管する施設である公民館やスポーツ施設、資料館、給食センター。ただし、学校統合関係については従とするが、先ほどの施設の再編や業務の懸案事項の対応、更には教育文化振興事業団の運営見直しを行い、教育委員会の行財政改革を推進することを目的として、内室として誕生した。

現在具体的にここに掲げている6つの項目を主に見直しや再編ということで取り組んでいる。室としては係長と私の2名体制で、ここに書いてあるとおり、業務の内容は主に基本的計画やスケジュール表、施設運営方針、進捗管理等々を本課である行革推進課や財政課、建築と協議をしながら進めていきたいと思っている。

当面は、間もなく出るであろうスポーツ施設の適正な配置及び整備の答申にかかる基本計画の策定支援や公民館及びコミュニティセンターに関わるまちづくり推進課との基本計画の策定支援。更には教育文化振興事業団のあり方の方針の見直しなどを、重点項目として取り組んでいきたいと考えている。

その他教育長の特命事項の対応をし、それぞれ教育総務課や生涯学習課、文化振興課と横断的に取り組んでいきたいと考えている。

室の権限は、公共施設のあり方の意思決定に関与できる権限と教育施設再編及び教育委員会懸案事項等を主導する権限を持ちながら調整していきたいと思う。

なお、当室の進捗状況と事業の方向性の確認として、毎週定期的ではあるが、教育長、教育部長、教育総務課長に対して報告をすることによって確認をして進んでいく予定である。

森脇課長

平成29年度 学校職員名簿（資料7）

平成29年度学校職員名簿について報告する。網掛けの部分が人事異動により異動された部分で、校長先生8名の異動があった。教頭先生においても同じく8名の異動があった。またご覧いただけたらと思う。

平成29年 学校別児童生徒数一覧表（資料8）

平成29年学校別児童生徒数一覧表となっている。4月1日現在で小学校の合計が2,624名ということで、昨年に比べて49

岡田室長

名の減少となっている。特に雲雀丘小学校で 17 名の減、それから石見小で 12 名の減、国府小で 12 名の減、雲城小で 15 名の減となっている。

裏面をご覧いただきたい。

中学校の一覧となっている。合計が 1,396 名で、昨年と比べて 34 名の減少となっている。特に、一中が 15 名の減、三中が 20 名の減である。

下の表で、小中学校全体で、下の段の児童生徒数の合計が 3,937 人ということで、4,000 人を切ってしまった。昨年の 4,020 人に比べて 83 名の減となっている。

平成 28 年度 学力向上総合対策事業実績報告書（資料 9）

平成 28 年度に行った事業についてまとめたものである。学力向上総合対策事業実績報告書である。

目次を見ていただくと、家庭学習ノートコンテスト、学習プリント配信システムの活用、コア・ティーチャー育成、スーパーティーチャーによる教員研修、協調学習の研修、学校図書館活用教育研究指定校、図書館活用教育の研修、浜田市図書館を使った調べる学習コンクールということで実施してきた。

家庭学習ノートコンテストについては、平成 28 年度は自主学習だけでなく宿題に取り組んだものも対象とするということにしたことと、年間にわたって呼び掛けを継続したことで応募者数が増加してきている。年々、まとめやパンフレット等も出したりしており、内容についても深まってきていると思うので、継続していきたいと考えている。

学習プリント配信システムの活用について、現在県補助があるのが、小学校の算数のみである。それ以外の中学校の国語、数学、英語と小学校の国語の学習プリント配信システムを導入している。

傾向としては市教委へプリント印刷の発注をかけてもらって、送る数が、若干減ってきた。逆に各学校でのアクセス数が増えている。

学校訪問等で話を聞くと、プリントを余らせるのがもったいないので、本当に必要なものを見極めながら注文をしていると言われたので、ぜひ余るくらいの勢いで年度当初に注文してほしいとお願いをした。現在ものすごい勢いで発注がかかっているので、今年度も利用をされているところである。昨年度も学

校訪問の際に大変有効に使っていただいているといった感想を非常に持った。

続いてコア・ティーチャー育成についてである。平成 28 年度には原井小学校の三浦先生、松原小学校の藤井先生、第三中学校の永見先生に行っていただいたが、私も短い期間だったが行かせてもらった。やはり不易と流行ではないが、変わらずにすべての学校で同じ様に取り組んでいることがしっかりとあるのだということを改めて感じた。

例えば、アクティブラーニングの授業の内容はそれぞれの学校で違っていても、掃除の仕方についてはすべての学校が同じやり方で行っている。音楽会の時には難しい専門用語等を全市が集まる音楽会で指導の先生がお話をされる。それを何のことという風ではなく、すべての子どもが難しい音楽用語を使われても理解をして取り組むことができているという様なことから、その様な報告をしていただいたので、非常に共有して取り組むことについては共有して取り組んでおられるのだなということを改めて感じた。

スーパーティーチャーによる教員研修について。28 年度は日程の並びも非常に良かったので、2 日間開催することが可能な日程で、国語と算数を実施した。国語に 125 名、算数に 89 名と、非常に多数の方に参加していただいた。感想の中にも、授業に活かしていきたいという前向きな感想がたくさん見られたので、今年度も継続していきたいと思う。

協調学習の研修については新しい学びプロジェクトの研修会ということで、第一部、第二部と基礎的なところと発展したところの二部に分けて実施をした。参加者も増えてきており、今年度、知識構成型ジグソー法による授業に取り組んで公開授業を行われる実践が増えてきている。

校務ネットワークに実践資料データを上げたりということも始めているので、授業で取り組んでみようという意識が高まっているのではないかと感じている。

それから、広島県の加計高校、加計小学校への研修会に参加させていただいた。鳥取地震があったその日に参加をさせていただき、授業中揺れたりということもあったが、子どもたちは動じることもなく、非常に落ち着いて授業に取り組んでいて、子どもたちが主体的に学んでいる姿が見られたので、有効に活

用していけば子どもたちの力も伸びていくのではないかと感じた。

次は学校図書館活用教育研究指定校ということで、今年度は原井小、松原小、国府小、弥栄中で公開された授業を掲載している。弥栄中を見ていただくと、弥栄中はすべての教職員の方が公開授業をされて、それをすべて公開授業ということで出されたので、参加者は少なかったが、弥栄中としては全員で取り組むという姿勢で取り組んでいただいた。

この取組で文科省から表彰も受けたり、非常に深まってきているのではないかと思う。公開授業についても掲載しているのでまたご覧いただけたらと思う。

ICTを活用して授業に取り組むといったことが出てきた。

ポプラディアネットというものを活用してタブレットを使いながら調べる学習を行ったりということがあるが、子どもたちも主体的に取り組むことができ、効果があったということで、今年度はポプラディアネットを全小学校で活用できるようにしている。小学校にはタブレットも導入されたので、有効に活用していただきたいと思う。

図書館活用教育の研修についてである。調べる学習についての研修会、浜田市の図書館を使った調べる学習コンクール、それから第1回浜田市学校図書館活用教育研修会、「広めよう！図書館を使った調べる学習～指導者育成のための体験講座～」というものを行った。

2番目の調べる学習コンクールについては、小学生児童と保護者20名で行ったが、大変熱心に取り組んでいただき、家族の方も真剣に取り組んでおられた。この中から調べる学習コンクールの入賞作品がたくさん出てきていたので、図書館司書との関わりが有効だということを改めて感じた。ここで学ばれたことを、作品として出されたものは非常に大変よくまとめられたものが出てきていたので、研修等が活かされていると感じたところである。

事業評価のところに読書センター機能の充実ということで、これは取り組んでいたと思うが、学習情報センター機能が不足しているのではないかということで話が昨年度出ていたが、今年度は学習情報センター機能としても小学校の授業回数も、中学校の授業回数は若干減ってきているが、回数が増えてきてい

るところである。

今後も教員の学習選択機能も含めて取り組んでいくことが必要ではないかという風に考えている。

最後に、浜田市図書館を使った調べる学習コンクールである。先ほどお話した調べる学習コンクールの研修会等が出されたものも応募の中にたくさん出てきた。全国コンクールの推薦作品として低学年の部が雲雀丘小の細田さんと三隅小の杖田さん、中学年の部で原井小の永野さん、高学年の部で周布小の小谷さんと弥栄小の横山さん、中学校の部で弥栄中の日原さんを推薦させていただいた。

浜田市の応募総数 1,499 点はコンクール参加 91 自治体の中では 18 番目の多さである。

事業評価にも記載しているが、夏休みに実施した調べる学習応援講座は 2 日間開催して大変充実して取り組むことができた。

表彰式については 12 校 25 名、引率者・保護者が 26 名の参加で石見ケーブルや山陰中央新報社の取材等もあり、テレビニュース等でも紹介されたところである。

学力総合対策事業については以上である。

平成 28 年度 浜田市小中連携教育 実践記録集 (資料 10)

浜田市小中連携教育実践記録集ということで作っている。長い資料になるので、別にパンフレットを用意させていただいた。小中連携教育ということで、校長会に委託をして各中学校区で取り組んでいるものである。

生活習慣作り、学力向上、一人ひとりを大切にする教育、ふるさと郷育を 4 つの柱として取り組んでもらった。

生活習慣作りについては情報モラルについての研修会やあいさつ運動について取り組んでもらった。

学び合う児童・生徒の育成ということで、今年度、二中校区で学習規律の徹底ということで取組まれたものがあつた。

それから、三隅中校区では学び合い活動の推進、9 年間の系統性を持ったキャリア教育の取組ということで、旭小中学校では 9 年間の勉強を見通したキャリア教育について取り組まれていた。

学校不適應を考慮し、変化に対応できる子どもの育成ということで、色々な中学校校区で行っているが、ようこそ先輩ということで中学生に小学校を訪問してもらって中学校の生活は

楽しいよという話をするといった授業をしている。

それから、中学校区にいくつかの小学校を抱える校区では小中連携ということで、6年生の交流活動を行ったり、それから中学校でオープンスクールを開いてもらい、いくつかの学校が集まって一緒に授業を受けたりという様なことをしている。

ふるさとを愛し、ふるさとを誇りに思う子どもの育成ということで、校区の特性を生かしたふるさと教育を行っている。三隅中ブロックでは、「みすみ習字」「ロードレース」「和紙製作」を取り組んでおられる。

金城中校区以外でも公民館との連携を図っているところはあるが、金城中校区では公民館や農園の方との連携とか、さざんか祭りに中学生が参加したりといったことを取り組んでおられる。

保護者・地域の方も参加した活動ということで、弥栄中校区では「小中一校ずつの小規模校の特色を生かした小中一貫教育について」という講演を継続して取り組んでおられる。

東中校区では、夏の夕べを親子で楽しむ会ということで取り組んでおられるが、小学校1校、中学校1校ということになったので、取組について工夫をしていきたいと述べておられた。

青少年サポートセンターの利用状況について（資料 11）

平成 28 年度の青少年サポートセンターの利用状況についてである。延べ相談件数を載せている。2 番目に相談対象人数として、3 月 31 日末までのところで 28 年度は 114 名として挙げているが、これ以外にも学校訪問のところで情報だけいただいていたとか、匿名や 1 回だけの相談で件数に含んでいないものもある。

居場所の利用状況だが、平成 28 年度になって 1 日の平均利用人数が前年度に比べて減っている。これは前年度まで結構回数来ていた利用者が進学したり、福祉就労等に向かって活動したりとかで利用が減ったりしたので、平均が減っているが、実際に居場所として青少年サポートセンターを利用する人数については変化はない。

利用回数としてそれぞれの場所を挙げているが、京町にあった施設と、旧浜田警察署に移転して部屋の状況が変わったことで区分を変えたりしているので、合計のカウントの仕方も変わったりしてはいるが、そういった状況で減ったとご理解いただ

原田分室長

ければと思う。

地域の活動団体と連携したまちづくり（資料 12）

地域の活動団体と連携したまちづくりということで、少し教育と合わせた取組になるので報告をさせていただきます。

昨年 3 月に金城のシェアハウスということで竣工式を行い、ちょうど 1 年を過ぎたが、様々な活動をしている。

今年の 3 月 17 日に金城シェアハウスの学習会の保護者説明会を開催し、多くの方に参加いただいた。

そういった中で、どういった取組をしているのかまだご存知でない方もおられる。また、そういった取組の内容の時間的な構成などもまだ浸透していないということもあるが、現在土曜日の午前中、9 時から 11 時の時間で 1 コマ 500 円という料金をいただきながら 50 分 2 コマの 100 分ということで取組を行っている。

県立大学の学生が現在 5 名おられて、この方々が対応して子どもたちの教育の面倒を見ているが、この 3 月の高校受験の前には非常に生徒の方も熱心に取り組んで、学生も非常に熱心に取り組んだと聞いている。

そのおかげもあり、金城中学校の生徒も全員合格ということで、金城支所長がちょうど予算委員会の最中であるということだったが、その状況を聞いてほっとしたということである。またそのお知らせを前島根県立大学本田学長にも連絡したところ、それは良かったということで、非常に喜んでおられたということである。

今は金城での小さな取組であるが、こういった成果が少し芽生えてきたなということで、報告させていただいた。

石本教育長

今資料のあるところについて報告いただいた。このところで委員方から質問等はあるか。

質疑応答

藤本委員

青少年サポートセンターの利用状況の説明があつたが、数字が羅列してあり、まだきちんと見ることができていないが、こちらの利用の呼びかけはどの様な方法でされているのか。

長見所長

小中は義務教育になるので、学校でまず山びこ学級から言われて、そちらも中々利用ができなくて引きこもっているような時には、出席にはならないが、外に出てくるということでどうですか

といった声掛けでの利用がある。

高校生になると普通の全日制は中々ないが、定時制や通信制だと学校に行っていない時間帯や、また学校に行きづらいため学校に行くことを慣らすといった形で来ませんかといった様な声掛けをしている。

その他、20歳以上になると中々利用には繋がらないが、少しでも家にいるよりは出てきませんかといった様な声掛けを根気よくしている。

藤本委員

特に20歳未満と20歳以上と区別をされているが、20歳以上は間違いなく社会人の方だと思うが、結構おられるということに改めて認識をしているところである。

その方たちはこちらに行けば、こういう風に過ごせるということを知っているというだけか。PRの仕方がないか。

長見所長

この人数だが、本人たちと会っていないケースも多々ある。親御さんだけとの関わりで、親御さんが相談に来られて、こういったことをしているとか話をさせていただいている。また、県の保健所で家族教室の様なものがあつたりするので、そちらでこういうことがあるといったこと、こういったことがあつたので参考になればどうですかといった資料をお届けしたりとか、相談を受けたりしている。中々、本人が今どうしているかといった状況を聞く程度で、相談員が訪問しても本人とは会ったことがないという様なケースがこの中には何件も含まれている。

実際はこれ以外にも来られていると思うが、中々こちらの方から、おられるのではないかと言うことができるものではないので、何らかの相談があつたところに対してできることからやっているという状況である。

宇津委員

学校別児童生徒数のことについて。私は二中の入学式に行った時に、すでに終わっている小学校の入学式の状況が情報として入ってきた。そこへ雲雀丘小の校長先生が来られて、うちは3人しかいなかったという話をされた。あの規模で3人とはどうしたことかと思ったが、これを見ると全校としても17人の減となっている。何があつたのか、自然減なので致し方ないとは思いますが、転勤等々が重なっているのかと考えたが何か理由があるか。

森脇課長

想像の域を出ないが、まず平岡都さんの警察捜査本部が無くなった関係もあるのかなと思っている。

花田委員

長浜幼稚園におられた警察の方々が、雲雀丘小に行かれる予定

森脇課長 だったが、丸ごと減ったと聞いている。

石本教育長 それから転入が少ないのではないかと感じているところである。

森脇課長 資料8で、今年の1年生は438人で2年から6年までで比べると20人くらい増えている。たまたま増えているだけか。来年また下がる様なことになるか。

石本教育長 来年については今資料を持っていない。ただ、昨年度の出生数が400人を切ったという状況があるので、やはり400人を切っていく方向にあるのではないかと思う。

石本教育長 単純に比較すると、中学1年生を見ると443人入っており、例えばこれが丸々昨年の6年生にいたとすると、438人入学しているので5人しか減らないはずだが、全体で49人小学生が減っているということは、各学年とも皆少しずつ減っている。転勤等で減っている。

親御さんが子どもを連れて浜田に来なくなったということもあるかもしれないし、大きな企業で浜田に支店や営業所があったところが廃止などでなくなったということもあるだろうし、そういった色々な理由があると思う。

ただ言われる様に雲雀丘小が3人ということは驚きである。普通考えられない。

その中で、旭小の1年生が30人というのはすごい。もう1人いたら2クラスになった。

藤本委員 実際にはおられるが、特別支援学級へ行かれた。

石本教育長 実際には32人おられるが、2人特別支援学級へ行かれた。

藤本委員 2人が特別支援学級に行かれたので、普通学級は30人となった。

石本教育長 2クラス分校舎は作ったが。ただ、今旭小学校は生徒数が123人いるが、130人くらいまでは増えるシミュレーションを見たことがある。そこからまた多少減っていく様な感じになる。

幼稚園についても石見幼稚園は5歳児、4歳児、3歳児のそれぞれ学級があるが、原井、長浜、美川については5歳児、4歳児は混合保育をやっている。それと3歳児の2クラスしかない。原井は特別支援学級があるが。

5歳児と4歳児で25人以下だと1つのクラスで保育をするといった内規があり、それに原井、長浜、美川は該当する。

資料9の16ページで、学校図書の関係の貸出の数があり、小

岡田室長 学校は順調に伸びてきているが、中学校は中々難しいか。  
数だけで見ていくと、小学校が数が多いのは、低学年は絵本なのでどんどん読めるが、段々と難しい本を読む様になってきて、特に難しい様な本を読むと、この辺が頭打ちになるのではないかと思う。これを、冊数を伸ばすことだけをやっていくとおかしなことになる。

石本教育長 課題としては、家で読む冊数について家であまり読まないという傾向が今見られている。学校では読んでいるが。  
岡田室長 中学校は朝読書の時間がないのか。  
やっているとこはある。中々家での学習時間を増やしたりとか、読書の時間を増やすことが難しい。子どもたちが忙しいといえれば忙しい。

石本教育長 月に1冊ちょっと。その様なものである。  
岡田室長 他市の比較とか、そういったデータはないか。  
他市は分からないが、全体的な傾向として見ればあるかもしれない。

石本教育長 図書館長、雰囲気的に中学生が本を読む数というのはこの様なものか。  
島田館長 冊数だけでいうと、全体の利用者の大体4%くらいが中学生の利用である。小学生が14%くらい。だいぶ差があると思う。  
中学生は図書館に来て本を借りないで学習コーナーへ直行してしまう。

金本委員 いくつかの資料で各学校の本の充足率があつたが、金城中学校の比率が少なかったように思う。  
森脇課長 あれは達成率だと思う。予算的には各学校に配当しているが、古い本を捨てられる。司書が見やすい様にとか、あまり子どもたちが読まない様な本をどんどん捨てられる。逆に言えば、頑張っているところ、読んで欲しいところの学校が多く捨てる傾向があり、パーセントが下がったことがあつた。気持ちは分かるが、あまり100パーセントから遠ざかると都合が悪いので気を付けてほしいという話もしているところである。  
それと、達成率の計算方法が学級数も影響するので、特別支援学級とかが増えると、実態にそぐわない様なパーセンテージも出てくるという様な傾向があるということも聞いている。  
その辺も考えながら、また見ていきたいと思っている。

石本教育長 子ども読書推進計画か何かで進めて。

宇津委員	<p>その他はよろしいか。</p> <p>弥栄中学校の公開授業の話があり、褒めてあげたいと思う。全教員が公開授業に取り組むということは中々あることではない。</p> <p>規模にもよるといえばそれまでだが、意思の問題が相当関わっていると思う。ぜひ機会があれば褒めてあげてほしい。</p>
石本教育長	<p>ありがとうございます。</p> <p>我々も学校訪問の時に伝えてあげなければならない。</p> <p>その他はよろしいか。</p>
各委員	<p>特になし。</p>
石本教育長	<p>資料のないところで報告等はあるか。</p>
各課長	<p>特になし。</p>

#### 4 その他

##### (1) 各課年間スケジュールについて（資料 13）

湯浅係長	<p>平成 29 年度各課の年間スケジュールについてご説明させていただく。この資料については各課の年間スケジュールをそれぞれ掲載している。</p> <p>一つひとつの説明は省略させていただきたいと思っている。</p> <p>委員方の欄については出席をお願いする様な会や行事等であり、別途ご覧いただけたらと思う。</p> <p>それから、この年間スケジュールに載っていないくても、ご出席が必要となるもの、またご出席を依頼するもの等については随時別途となるが、委員方にご案内させていただく。</p> <p>よろしく願いしたい。</p>
石本教育長	<p>各課から補足や説明があるか。</p>
各課長	<p>特になし。</p>
石本教育長	<p>それでは年間スケジュールについて、またご確認いただけたらと思う。</p>

##### (2) その他

佐々木部長	<p>奨学金の関係でご報告をさせていただく。</p> <p>前回だったか、山藤功さんの奨学金の話させていただいたと思うが、本日入金となると思う。明後日の水曜日に贈呈式を行う予定としている。市長が直接出られるが、水曜日の 9 時から贈呈式を予定している。</p> <p>（仮称）山藤功奨学金については基金を積み立てて、条例も</p>
-------	---

必要になるので、6月議会で条例の提案と補正予算の上程をする。その前段で、条例案等についてはまた次回の定例会でお示しをさせていただき、ご了解いただきたいと思うのでよろしくお願ひしたい。

石本教育長  
各課長  
石本教育長

その他はよろしいか。

特になし。

お手元に教育委員会の懸案事項ということで、最初に私からお示ししたとおり、各課がまとめたものがある。またご覧いただけたらと思う。

それぞれ細かく、こういった課題が残っている等示している。こういったものを常に机の側に置きながら仕事に当たるということが大事だという風に思っている。

#### 次回定例会日程

定例会 5月23日(火) 13時30分から 中央図書館2階多目的ホール

#### 次々回定例会日程

定例会 6月28日(水) 13時30分から 浜田公民館第1研修室

15:10 終了